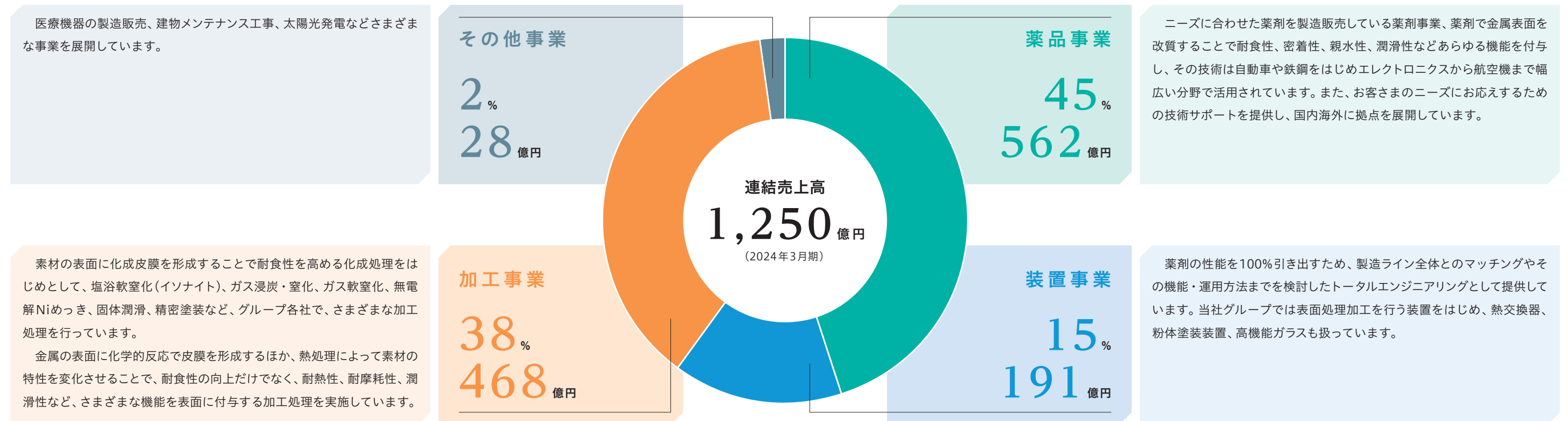


日本パーカライジンググループの事業ポートフォリオ

当社グループは、経営組織の形態と製品およびサービスの特性に基づいて、薬品事業、装置事業および加工事業の3つを報告セグメントとしています。

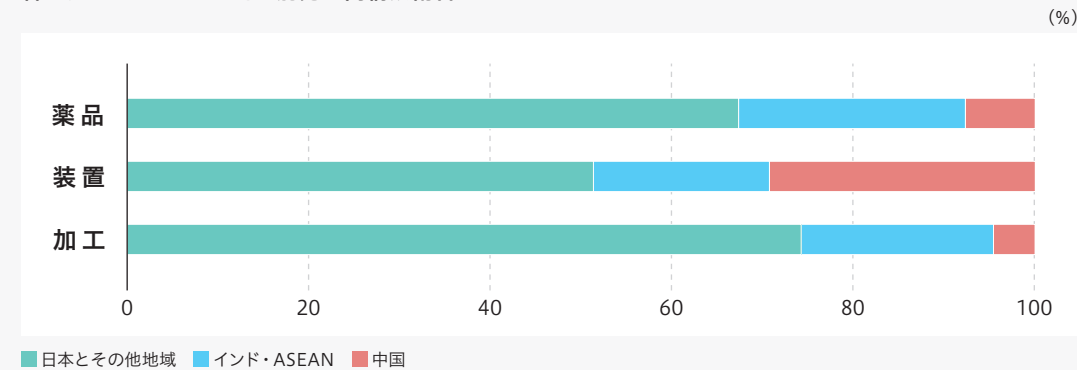
薬品事業は耐食性、耐摩耗性、潤滑性等の機能性向上を目的に、金属等の表面に化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤等を中心に製造・販売を、装置事業は前処理設備、塗装設備、粉体塗装設備等の製造・販売を、加工事業は熱処理加工、防錆加工、めっき加工等の表面処理加工を行っています。また、これらのほかにも、医療機器販売、建物メンテナンス工事、太陽光発電など、さまざまな事業を展開しています。



1965年に初の海外進出として、台湾に合弁会社を設立して以来、各セグメントで、グローバル化を積極的に進めており、当社グループの製品およびサービスは、国内はもとより米国・中国・韓国・台湾・タイなどをはじめとする国々と地域において、工業用途から家庭用途まで幅広く使用されています。

現在は、インド・ASEANをはじめとして、今後、高い経済成長が見込まれる地域において、マーケットインの視点で、各地域の顧客ニーズを把握し、地域特性に合わせた戦略を進めるリージョナル経営を推進することで、さらなる海外事業の拡大を目指しています。

各セグメントのリージョン別売上高構成割合



当社グループは表面処理のスペシャリストとして、企業理念である「地球上に限りある資源の有効活用を図り、あらゆる素材の表面改質を通じて、資源の新しい価値を創造し、地球環境の保全と豊かな社会作りに貢献」の実現に向けて、摺動性の向上や絶縁性を高めることで、より高効率でエネルギーロスを削減する表面処理技術の開発を積極的に推進しており、脱炭素社会の実現に向けた技術開発にグループ全体で取り組んでいます。

国内では約130名の人員が在籍する総合技術研究所のほかに複数の技術センターを配置するほか、海外では、中国およびタイに研究開発拠点を設置することで、各リージョンのニーズに適した迅速な技術開発と顧客に密着した技術サポートを行っています。